

使用上の注意改訂のお知らせ

劇薬（テオフィリン徐放カプセル 200mg「サンド」）
処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）
キサンチン系気管支拡張剤

2023年10月-11月

テオフィリン徐放カプセル100mg「サンド」 テオフィリン徐放カプセル200mg「サンド」

テオフィリン徐放性製剤

販売
日本ジェネリック株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

製造販売
サンド株式会社
東京都港区虎ノ門1-23-1
URL:<https://www.sandoz.jp/>

このたび、標記製品の「使用上の注意」を改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。
今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

【改訂内容（下線部：変更箇所）】

改訂後	改訂前						
<p>【禁忌】（次の患者には投与しないこと）</p> <p>(1) 本剤又は他のキサンチン系薬剤に対し重篤な副作用の既往歴のある患者</p> <p>(2) 12時間以内にアデノシン（アデノスキャン）を使用する患者（「3. 相互作用」の項参照）</p> <p>3. 相互作用 本剤は主として肝薬物代謝酵素 CYP1A2 で代謝される。</p> <p>(1) 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>アデノシン （アデノスキャン）</td><td>本剤によりアデノシンによる冠血流速度の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン（アデノスキャン）を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。</td><td>本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。</td></tr></tbody></table> <p>(2) 併用注意（併用に注意すること） 変更なし</p>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	アデノシン （アデノスキャン）	本剤によりアデノシンによる冠血流速度の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン（アデノスキャン）を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。	本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。	<p>【禁忌】（次の患者には投与しないこと）</p> <p>本剤又は他のキサンチン系薬剤に対し重篤な副作用の既往歴のある患者</p> <p>3. 相互作用 本剤は主として肝薬物代謝酵素 CYP1A2 で代謝される。 新設</p> <p>併用注意（併用に注意すること） 省略</p>
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
アデノシン （アデノスキャン）	本剤によりアデノシンによる冠血流速度の増加及び冠血管抵抗の減少を抑制し、虚血診断に影響を及ぼすことがある。アデノシン（アデノスキャン）を投与する場合は12時間以上の間隔をあけること。	本剤はアデノシン受容体に拮抗するため、アデノシンの作用を減弱させる。					

【改訂理由】

相互作用相手薬との整合のため、「禁忌」及び「相互作用」の項へ「アデノシン（アデノスキャン）」を追記いたしました。

【DSU掲載】

使用上の注意改訂情報は、2023年11月発行の「医薬品安全対策情報（DSU）No. 321」に掲載されます。

今回の使用上の注意改訂等を反映した電子化された添付文書情報につきましては、以下よりご確認ください。

- 日本ジェネリック株式会社 医療関係者向けサイト (<https://medical.nihon-generic.co.jp/>)
- 医薬品医療機器総合機構ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>)
- 「添文ナビ」にて個装箱等に表示のGS1バーコードを読み取る。
「添文ナビ」のインストールや使用方法は日薬連のホームページをご覧ください。
(<http://www.fpmaj.gr.jp/Library/eMC/>)

お問合せ先：日本ジェネリック株式会社
安全管理部 TEL：03-6810-0502

テオフィリン徐放カプセル100mg/200mg「サンド」



(01)14987792102415